

学 長 式 辞

皆さん、修士あるいは博士の学位取得おめでとうございます。

皆さんが今日学位を取得できたのは、皆さんの努力もさることながら、皆さんの御家族、指導教官、友人その他の皆さんのお力添えがあってこそということを頭に置いて、その方々に感謝の意を表して頂きたいと思います。特にご家族のサポートは大きかったと思います。

さて、学位とはどのような意味を持つのでしょうか？一定の教育課程を修め、試験に合格し、学術上の功績を論文にして認められた者に学位を授与することになります。元来、教員と学生との組合（連合体）であるユニベルシタスが大学 university の起源であり、教員資格としての学位授与は大学最大の特権として定着していきました。

即ち、学位の起源は大学で教育・研究活動する為の資格として始まったものであります。

今日、みなさんは昌平坂学問所として近代教育発祥の地という由緒ある土地に建つ東京医科歯科大学大学院の権威ある学位を授与されておりますが、学位取得は自分で自主的に研究活動を継続できる、教育する資格ということの第一歩でしかありません。

本学のような医療系大学の最終目標は、優れた研究成果を上げることにとどまらず、その成果を医療や人類の健康増進、すなわち社会貢献することです。

今迄、大学院では主として自然科学を学び、研究されてきたと思いますが、医歯学系の研究には人文及び社会的側面もあることを忘れてはいけません。

今後成果を社会に還元し、人類社会の持続的発展に寄与することに努めて頂きたいと思います。その為には医療人としての人格の陶冶と

高い倫理観の養成にも努めて頂きたいと思います。

今回、修士課程 120 名、博士課程 175 名、計 295 名が学位を授与されましたが、今後の進路は多様であり、ポスドクを予定している人、当大学医学部あるいは歯学部附属病院で臨床に戻る人、他の病院で臨床に戻る人、民間企業で研究職に入職する人、留学生には祖国に戻り医療人として活躍する人などもあります。

国内外あるいは祖国でポスドク、民間企業でテーマは違っても研究を続ける basic scientist となる人は、今迄の大学で学んだことを生かし、本居宣長の「年月長く倦まず、怠らず、励み努める」を心に研究に励んで戴きたいと思います。臨床の現場に戻る人は、clinician scientist あるいは academic clinician となって科学的視点を持った医療人、すなわち問題点を見つけ出して、自ら解決する医療人になって戴き、日常性に埋没している時に起きる

医療過誤と無縁に生きて戴きたいと思います。

当大学のミッションは「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」です。先程もお話ししましたが、本学は徳川幕府直轄の昌平坂学問所の講堂などがあった場所にあります。昌平坂の名は孔子の生まれた昌平郷から由来しており、孔子を祀る湯島聖堂は学問所の一部でありました。この事実を示す門標がお茶の水門に掲げられています。

近代教育・学問発祥の地にある東京医科歯科大学は世界に冠たる医療系総合大学を目指しており、本日の学位を取得された皆さんも誇りを持って、各分野のグローバルリーダーとなるべく精進して戴きたいと思います。

今後の医・歯・保健学研究、医療を考えると、IoT、AI、ロボテックス、3Dプリンターなどの技術革新が大きく影響すると考えられます。また、カルテ情報だけでなく、ゲノム、エピゲノムに関するデータ、環境因子、生活習慣などが入力されたいわゆるビッグデータ活用など、数理医学的思考による先制医療、個別化医療、そして同時に先駆的医療も展開されると思われます。

将来の医学、医療を確かなものに進めるには、このような情勢に対応できる「知と癒しの匠」になることが必要であります。

さて、本学はスーパーグローバル大学タイプ A に採用され、世界ランキングのトップ 100 を目指すことが期待されておりましたが、昨年の QS 世界大学ランキングでは、歯学分野で世界第 10 位、医学分野で世界のトップ 100 に大阪大学と並んで入ることができました。

また、THE の前臨床、臨床、健康分野で世界 74 位、日本 3 位となっております。

スーパーグローバル大学タイプ A には 13 校が選ばれましたが、東大を初めとするいわゆる総合大学がほとんどで、東京医科歯科大学だけが例外であります。

グローバリゼーションについて考えてみますと、グローバリゼーションの始まりは 1500 年頃の大航海時代であり、植民地支配による経済的、政治的側面が主体でありました。

第二次大戦後は冷戦状態が続いておりましたが、ソ連の崩壊により世界のパワーバランスが一方的となり、欧米、主として米国の圧倒的経済力、政治力、産業力、軍事力により、アメリカ化がグローバリゼーションでありました。

しかし、アメリカの総合力の低下、中国、ロシアを初めとするナショナリズムの台頭などに伴い経済的、政治的、産業構造、軍事態勢とあらゆる面で矛盾対立が生じております。

最近、グローバリゼーションの旗振り役であったアメリカにもナショナリズム、プロテクショナリズムに回帰する傾向があり、ヨーロッパでも大量の難民問題、移民問題に端を発し、ドイツ、イタリア、イギリスなど先進国の国内でもナショナリズムの台頭があり、国家間の争いの危険性が増しております。このナショナリズム、プロテクショナリズムの行く先には独裁的政治となる傾向があり、軍事予算の拡充と科学予算の減額をきたしております。

また、グローバリゼーションの教訓として、社会的に負の結果を持たらしているのが、現在話題のC O V I D - 1 9 いわゆるコロナウィルスのアウトブレイクです。

当初、中国武漢に発した coronavirus が主としてツーリズムを通して世界中に epidemic から pandemic へと蔓延してきております。2002年には中国広東省を発するSARSが問題となりましたが、その時は、国内発生を阻止することが出来ました。いずれにしろ現在のように他国への移動が容易な時代は感染症が世界問題となる傾向にあります。特に経済的に発展した国民は世界中を観光できる時代であります。豊かな国は新しい感染症を発生させない義務を負っており、各国の自覚が必要です。一方、インバウンドツーリズムに力を入れている国は新興感染症に対する万全な措置が必要です。

今回の本邦の対応は広い批判を浴びております。またこのような状況では、一時的な人事交流の停止もやむを得ないでしょう。

このような状況の中で、医療系総合大学である本学のグローバルゼーションとは何でしょうか？

ややもすれば大学ランキングだけがグローバルゼーションの絶対的指標のように言われております。

しかしながら国際的に確立した医療、日本の先端医療、健康保険システム、環境改善策、疫学研究、普遍的生命現象を解明する生命科学研究、先制医療などをおこなう人材を各国の実情に応じて育成する事こそが重要ではないかと考えます。その為に国際的に活躍するグローバルリーダーを育てるのが、本学の務めと考えております。

本学の学位を取得された皆さんには、グローバルに活躍されることも期待されていることを誇りに思い、グローバルリーダーとなる道を極めて戴きたいと思っております。

最後に、私のモットーである「己を知れば邪心なし」の意味する所は、己を過大あるいは過小評価することにより、自分の現在ある立場は、私の能力にふさわしくないなど他人が評価すべきであるのに、自分で評価して不満を感じる、あるいは自分が立場にふさわしい能力がないの

で自分を守るために、他人を陥れるなどは邪心であり、自己アイデンティティすなわち、自分の置かれている状態を正しく理解すべきであるということになります。

自己アイデンティティがしっかりしていると最近話題となっている論文不正は起こることはありません。

また、この自己アイデンティティは人間の品格を決める因子でもあります。

またもう一つのモットーである「積極思考で全力を尽くす」は自分の置かれている環境がどうであれ、不平不満を述べるのではなく、己の信ずる所に従って、全力を尽くして生きる場合に道は拓けるという意味です。

皆さんには、これらの精神を持って人類社会に貢献する医療人としての人生を送って戴くことを切望致しまして私のお祝いの言葉としたいと思います。

本日は誠におめでとうございます。

二〇二〇年三月二十六日

東京医科歯科大学学長 吉澤 靖之